

(リスクアセスメント) 雪氷巡回 作業手順書

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和6年3月25日	黄パト巡回車	角スコ、塩分濃度計、気温計、竹ぼうき	ヘルメット、手袋、安全靴、安全チョッキ、保護カネ、マスク からまんでーW(黄旗)、しらすんだー受信機 レッドホーンW(赤色棒)	塩カル小袋
改訂日	令和6年7月1日				
作成者	不破				
必要資格等	運転免許(普通)			作業人員	2名
備考					その他

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危険有害要因低減対策	誰が		対策後			参考図(写真等)
				可能性	重大性	評価		点検・確認	可能性	重大性	評価		
<b>準備工</b>		<b>作業前ミーティング</b>											
	1	新規入場者のチェックをする	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	2	4	新規入場者教育の受講	職長	1	2	2		
	2	健康状態を確認する	風邪、飲酒等により正常判断が出来ない	2	1	2	体調の確認、アルコールチェックを行う	職長	1	1	1		
	3	服装、保安用具の点検をする	自発光チョッキの球切れがある。誘導灯の電池切れ	2	1	2	全員で点検を実施する	全員	1	1	1		
	4	機械・工具等の点検をする	塩分濃度計・気温計の数値異常	2	1	2	作業前点検を行い、機械、工具の点検をする	全員	1	1	1		
	5	朝礼、KYミーティングを行う	巡回ルート間違える	2	1	2	KYミーティングにて巡回ルートを確認する	全員	1	1	1		
	6	作業手順の確認をする	各自の作業が分からず、現場で不安全行動を起こす	3	2	6	個人の作業内容、作業手順を確認する	全員	1	2	2		
	7	車両点検、荷姿チェックをする	作業車の積荷、スペアタイヤの落下	2	2	4	車両点検、荷姿チェックを行う	全員	1	2	2		
<b>移動</b>		<b>現場への移動</b>											
	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故、携帯電話使用、シートベルト	3	3	9	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	3	3		
							乗車時は靴の裏の汚れや水分を十分落とす	全員					
	2	高速道路に入る前には、プレートを確認しておく	プレート区間外使用	2	1	2	車両点検時、荷姿チェック時に確認しておく	全員	1	1	1		
	3	出発	本部が状況判断できない	2	1	2	出発前には本部へ連絡するよう徹底させる	助手	1	1	1		
	4	最寄りの休憩施設、BS等に待機	駐車スペースが無く、一般車両とダブル	2	1	2	一般車両に配慮し駐停車、BSでは回転灯ハザード点灯	作業員	1	1	1		
	5	車両は、ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めをする	車両が動いて、他のものに接触する	1	2	2	ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めの確認	全員	1	2	2		
<b>本作業</b>		<b>雪氷巡回作業</b>											
	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	2	2		
	2	高速道路に入る前にプレート区間の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	通用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1		
	3	天候及び路面状況の確認	積雪や凍結路面でのスリップ	3	1	3	路面の状態をしっかりと確認しながら運転する	作業員	1	1	1		
	4	基地内での移動	車両同士の接触	2	2	4	車両の移動は必ず保安員の指示に従う	作業員	1	2	2		
			車両と作業員の接触	2	2	4	保安員は運転手から見える場所で誘導を行う	作業員	1	2	2		
	5	降車しての路面の点検・塩カル散布	一般車との接触	2	2	4	作業する者の上流に保安員を配置し監視をする	作業員	1	2	2		
				2	2	4	一宮管制に連絡をし電光掲示板に表示してもらう	作業員	1	2	2		
	6	巡回記録簿の記入、雪氷本部へ報告											

**【セーフティーバイブル】**  
 ・車両編【VE-21】車両乗降方法  
  
 ・規制編【RE-04】からまんでーW、レッドホーンW  
 ・規制編【RE-05】しらすんだー